学校番号	120

平成 31 年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「最新　現代社会　新訂版」　（実教出版）						
副教材等	新編テーマ別資料（東京法令出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・中学校で学んだことを活かして、広い視野に立って現代の社会について理解を深めましょう。
・人間としての在り方生き方について考察し、良識や公正な考えをはぐくみましょう。
・時事問題への関心を高め、主体的意欲的に学ぶ姿勢を養いましょう。
・ワークシート、ノート、課題等の提出物は期限を守りましょう。

2　学習の到達目標

・人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、広い視野に立って現代の社会と人間について理解を深める。
・人間としての在り方生き方について考察し、良識や公正な考えをはぐくむ。
・現代社会の諸問題に対して関心を高め、主体的意欲的に学ぶ姿勢を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代の諸課題に対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加協力する態度を身につけ、人間としての在り方生き方について自覚を深めている。	現代の諸課題を見出し、社会的事象の本質や人間の在り方について広い視野に立って多角的・多面的に考察し、社会の変化やさまざまな考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	現代の社会と人間に関わる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の社会的事象と人間としての在り方生き方とにかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。
評価方法	提出物（ワークシート、ノートなど） 授業での観察	定期考査 提出物（ワークシート、ノートなど） 調べ学習・発表 授業での観察	定期考査 提出物（ワークシート、ノートなど） 調べ学習・発表 授業での観察	定期考査 提出物（ワークシート、ノートなど） 授業での観察
	〔主題学習〕 振り返りシート 課題	〔主題学習〕 論述	〔主題学習〕 論述	〔主題学習〕 論述
	※「主題学習」とは主題を設定して行う学習活動で、適切な時間を確保して行う。			

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	私たちの生きる社会	・地球環境 ・資源とエネルギー問題 ・情報の高度化の進展	○ ○	 ○ 	 ○	○ ○ 	a:さまざまな課題が世界には存在していることに気づく。 b:設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現する。 c:設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:設定された主題について、時事問題と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	ワークシート 授業態度 定期考査
	人間としてのあり方生き方	・青年期と自己形成 ・青年心理 ・伝統と文化とのかかわり ・社会とのかかわり	 ○ ○	○ ○ 	 ○ ○	○ ○	a:青年期の持つ意味や、自らの進路や職業など自己形成の課題について学ぶ。 また、伝統文化と自分の行動様式や考え方との関係について考察する。 b:青年期の悩みとその克服についてどうすればいいのか考察し、論述する。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:青年期、伝統文化、社会参加の意義について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 授業態度 ワークシート ノート提出
	個人の尊重と法の支配	・近代国家の思想 ・法と社会 ・法の支配 ・基本的人権の保障 ・世界の政治体制 ・日本国憲法の基本原理 ・平和主義と日本の安全保障	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ 	a:基本的人権や日本国憲法の基本原則を国民生活との関係から理解し、民主政治における個人と国家について考察しようとしている。 b:設定された時代の政治思想の特質や、代表的思想家の考えを多面的・多角的に考察し、その主旨を適切に論述することができる。 c:諸資料を収集し有用な情報を選択して、基本的人権と公共の福祉との関係や、日本国憲法と明治憲法の違いを読み取って図表にまとめている。 d:私たちの生活と政治や国家、憲法と法のかかわりについて歴史と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 授業態度 ワークシート ノート提出

2学期	民主政治と政治参加の意義	・国民主権と議会制民主主義 ・内閣と行政の民主化 ・司法権の独立 ・裁判員制度 ・日本の選挙制度 ・世論と現代の政治	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ 	a:日本国憲法の基本原理をふまえ、国会、内閣、裁判所の機能について関心を高める。 b:議会制民主主義、議院内閣制のしくみについて考察するとともに、裁判員制度を含む公正な裁判について考察する。 c:選挙制度の現状と課題について、参考資料・新聞記事やグラフから課題を読み取り、表などにまとめたりしている。 d:国民主権、議会制民主主義、権力分立など日本国憲法に定める政治の在り方について知識を身に付けている。また、政治参加の重要性について認識を深めている。	定期考査 授業態度 ワークシート ノート提出 課題
	国際政治の動向と日本の役割	・国家主権と国際法 ・第二次世界大戦後の国際社会 ・核兵器と軍縮 ・地域紛争 ・日本の役割と私たちの生き方	 ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:平和の意義や時事問題などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。民族問題に起因する地域紛争については、文化や宗教の多様性を知り、それぞれの固有の文化を尊重する寛容な態度を養っている。 b:20 世紀初頭にみられた社会の急激な変化の具体的な様相や、二つの世界大戦の原因や影響と平和の意義について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:第二次世界大戦後の国際社会や、冷戦終結後の国際社会の状況、核兵器を廃絶するための取り組み等に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。また国際平和のために何をしなければならないかを考察し、まとめる。 d:主権国家や国際法、第二次世界大戦後の国際社会を現代史と関連付けて理解し、地域紛争の原因、実態、影響に関する知識を身に付けている。	定期考査 授業態度 ワークシート ノート提出

3学期	現代の経済社会と私たちの生活	・企業の活動 ・市場のしくみ ・財政のしくみと税金 ・金融機関のはたらき ・雇用と労働問題 ・社会保障	 ○ ○ ○	○ ○ ○ 	○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	a:現代の経済社会の変容をふまえ、市場経済の機能、政府の役割と財政・租税、雇用問題などについて関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:産業構造の変化、雇用、労働問題、公害の防止と環境保全などについて考察し、経済主体としての企業や個人の社会的責任について公正に判断して、適切に表現している。 c:株式会社の特徴や社会的責任について、有用な情報を選択し、読み取ったり図表などにまとめたりしている。また、日本の社会保障と少子高齢化の課題についても適切に情報を収集し、論述するなどしている。 d:第二次世界大戦後の諸地域世界についての基本的な事柄を、世界の政治・経済の動向と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 授業態度 ワークシート ノート提出 課題
	ともに生きる社会をめざして	〔主題学習〕 ・課題の設定 ・調査方法 ・資料収集 ・成果報告	 ○ 	 ○	 ○ 	 ○ 	a:現代の諸課題（時事問題、個人と社会、現役世代と将来世代など）を、新聞記事など適切な資料から選択し、意欲的に追究しようとしている。 b:民主的で持続可能な社会の形成に参画するという観点から、諸事象を公正に判断して論述する。 c:現代の諸課題を考察する際、多面的・多角的観点に基づいて必要な情報を収集し、図表やレポートにまとめたりしている。 d:現代の諸課題に関する知識を身に付けている。	レポート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。